

「旧市営西蔵町住宅敷地における市立認定こども園整備」に関する
説明会議事録

日 時	令和元年7月26日(金) 19:00~20:15
場 所	西蔵集会所
出 席 者	こども・健康部長 三井 幸裕 こども・健康部主幹施設整備担当課長 伊藤 浩一 都市建設部参事 山城 勝 都市建設部建築課長 尾高 尚純 教育委員会管理部長 岸田 太 教育委員会管理部管理課長 山川 範
事 務 局	こども・健康部子育て推進課 教育委員会管理部管理課
参 加 者 数	10人

1 次第

- (1) 開会
- (2) 説明
- (3) 質疑応答
- (4) 閉会

2 配布資料

当日配布資料

3 議事録

(事務局伊藤) それでは、項番1の実施設計の内容について、ご説明いたします。すべてを説明すると長くなり、質疑に時間を取りたいと考えておりますので、省略しながらご説明いたします。ご質問の際には詳細についてご説明したいと考えております。

2ページをご覧くださいませでしょうか。市立幼保連携型認定こども園実施設計について、項番1番整備の概要の表の右側をご覧ください。まず、上から名称として、(仮称)市立西蔵認定こども園でございます。設置場所は旧市営西蔵町住宅敷地を活用するものでございます。運営開始予定は令和3年4月を予定しております。敷地面積は約4985㎡、構造規模は鉄骨造地上2階建て、延床面積は約2000㎡、各階の面積はご覧のとおりです。配置室名としましては、認定こども園の運営に必要な保育室や職員室等を備えております。

項番 2 番の今後の主なスケジュールは、市民の方や保護者の方への実施設計の説明をこの 7 月に順次実施しております。工事着手については、現時点は実施事業者が決まっておりませんので、決定後の 10 月ごろに工事説明会を実施したいと思っております。3 ページは参考図書名を挙げております。

4 ページの現状図をご覧ください。フェンスの設置等変わっているところもありますが、近隣の皆様のご理解とご協力のもと、解体工事は終えております。

5 ページの配置図をご覧ください。敷地全体を上からみた図となっております。斜線の園舎は敷地の北側、南側には園庭という配置になっております。西側には送迎の来客用駐車場を 18 台用意し、右上に駐輪場として 28 台と 12 台のあわせて 40 台整備する予定です。28 台の駐輪場の右側には屋外傾斜路として、外部から屋上にあがることのできる経路を設けております。

6, 7 ページは園舎内の部屋の配置を記載しております。入口は図面の中央のエントランスを通過して入っていただきます。エントランス左側には調理室やランチルーム、エントランス右側には職員室、保健室、低年齢児の保育室がございます。7 ページは 2 階の部屋の配置図となっており、右側には遊戯室、中央に 3～5 歳の保育室があります。図面左側は 1 階の屋上ですが、広場がございます。

8 ページは屋上の平面図となっております。災害発生時は北への避難が原則であります。万が一、施設に避難する場合、屋上は子ども達が避難する可能性もありますが、地域の方が避難できるような活用も考えております。このこども園を地域の共有財産と考える一つでもあります。

9, 10 ページは建物を東西南北からみた立面図となっております。

11 ページは建物を縦切りにした断面を記載しています。6 ページにある印で縦に切った断面図でございます。

12, 13 ページはイメージの外観からみたパース図ということで、12 ページはエントランスから、13 ページは園庭からみたパース図となっております。

実施設計の概要については説明が以上となります。

(事務局山川) 私の方から市立幼稚園・保育所のあり方について説明をいたします。

14 ページは平成 29 年 2 月に地域の皆様や保護者の方にお示した市の就学前施設の再編計画の全体像を図で示したものになります。ページの中央の太枠になっている伊勢幼稚園と新浜保育所から矢印がでている先に令和 3 年 4 月から西蔵町市営住宅敷地に幼保連携型の認定こども園を定員 186 人でそれぞれの施設からの子ども達をこども園で集約する

となっております。

次のページは伊勢幼稚園と新浜保育所、(仮称)市立西蔵認定こども園の工程表としてお示ししております。それぞれの施設で過ごす子ども達は令和2年度末で転園していただき、こども園で一緒に過ごしていただきます。伊勢幼稚園跡地は令和4年4月から私立の認定こども園を誘致する予定でございます。新浜保育所の跡地の活用につきましては、現在未定となっております。

私からは以上となっております。

(市民) 3点質問があります。1点目は、この地域は去年の台風の際も浸水が危なかったと聞いております。避難訓練は年に何回くらいどのような形で行われるのか、また1歳や2歳の子どもを避難させるのはかなり大変なことだと思いますが、避難訓練をどのように行うのか教えてください。2点目は新浜保育所と伊勢幼稚園が統合するということだと思いますが、0～2歳の低年齢児と3～5歳の子ども達が一緒に過ごすことになると思いますが、これに伴い、接する先生方も様々なすり合わせが必要になると思いますし、環境を整える必要があると思いますが、こども園になるメリット・デメリットをどのように考えておられるか、またデメリットへの対策をどのように考えているか、統合が円滑に進むようにどのようなことをされるのか予定を教えてください。それに関連して先生が子ども達にどのように接するのかによって園が変わると思うので、先生方への教育体制やフォローの計画についてお伺いしたいと思います。

(事務局伊藤) 避難訓練は毎月1回以上行います。内容は毎回同じではなく地震であったり、防犯であったり、火災であったり様々です。基本的に火災訓練は月に1回以上ですので、それに加えた形で行っていくことになります。低年齢児の避難については、既に他の保育所でも課題として取り上げ、対策をしています。避難をするスピードが重要ですので、複数人が一度に乗れる避難車や保育士が抱えて避難訓練を行っています。近隣の保育所ですと、定員が100人の新浜保育所は津波時の避難先である打出教育文化センターに避難する訓練を既に行っており、約30～40分かけて避難を完了していると聞いています。西蔵のこども園の避難先は現在調整中ですので場所が変わる可能性はありますが、同様の方法をベースに行います。

統合を行い、様々な年齢の子ども達が一緒になることやこども園になるメリット・デメリット及びデメリットへの対策ということですが、もともと幼稚園と保育所の双方で教育・保育を行っておりましたので、こども園になることでそれが極端に変わるということではありません。子ども達に

とって適切な教育・保育は、幼稚園でも保育所でもこども園でも行っていますので、そのことに関して、特別にメリット・デメリットがあるわけではありません。ただ、メリットとしまして、今まで幼稚園で勤務していた幼稚園教諭と保育所で勤務していた保育士が同じ場所で教育内容やプランを考えますので、その中で新たな取組ができていくと思います。そういった点がメリットにつながると考えております。既にこども園として運営が始まっている精道こども園でも新たな取組が行われ、チャレンジしているところです。デメリットになる可能性としては、先ほどお伝えしたとおり、今まで幼稚園で勤務していた先生、保育所で勤務していた先生が一緒の場所で働くこととなりますので、どのような教育・保育を行うかということは顔を合わせてすぐにできるものではないと考えておりますので、その点がある意味デメリットになるかと思っております。この点については、令和3年度の開園に向けて、令和2年度の1年間をかけて、伊勢幼稚園の先生と新浜保育所の先生、教育委員会、子育て推進課の職員が一緒になり、教育・保育の内容の検討や行事も検討してやっていきます。既に精道こども園で行っている実績もありますので、それも踏まえて開園後、混乱しないよう、取り組んでいきますので、この点への対策はできると思っております。

(市民) 最近、会社内の火災等で非常口が少なく逃げ遅れて亡くなられた事件があったと思います。このこども園には1階や2階に非常口がいくつ、どこにありますか。また、図面の中に調乳室がありましたが、缶のミルクを溶かすのでしょうか。缶ミルクの原料は牛ですので、私は人間の赤ちゃんには、母乳を冷凍して持ってきてもらうほうがいいのではないかと思います。

(事務局伊藤) 非常時は出入りできるすべてのところから避難していただくことになります。また、エントランスに加えて6ページの右側にも出入り口があります。また、南側は保育室から直接外に出ることができ、西側はテラスにも出ることができますので、壁によって出ることができないという状況の方が少ない建物となっており、外に出るという点については、迅速にできる構造になっています。

調乳室で利用しているものについては、食中毒等の関係もありますので、自宅から持ってきていただく運用は基本的にはありません。園の方で清潔で安全と確認したものを使用し、飲んでいただくことが原則となります。栄養の関係等の特別な事情があれば、個別での対応が必要となる可能性もありますが、原則はこのような運用にしたいと思っております。

(市民) 私は自然医学に関心があり学んでいます。牛乳を飲むことで体が弱く

なるそうです。牛乳は牛用の栄養ですので、牛用のものでは人間は十分に成長することはできないと思います。最近、乳がんが増えているのも牛乳をよく飲むようになったからだと言われているので、私の尊敬している自然医学の先生は言っています。将来に影響しないよう、幼児期から食べるものを丁寧に気にしていただきたいと思っています。

また、園庭の砂埃について前回の説明会で様々な意見が出ていましたが、芝生にしてはどうでしょう。

(事務局伊藤) ミルクに限らずですが、食べ物については十分配慮が必要だと思っています。放射能検査についても実施しておりますし、きちんとしたものを準備いたします。

園庭の方ですが、砂埃を完全になくすことはできませんが、水をまくなどできる範囲で砂埃がたたない運用を予定しております。全面芝生化は子どもが過ごすところになりますので、芝生を維持することは難しいところがあり、運用の中でカバーをするということで実施していきたいと思いません。全面芝生化が難しいということでご理解いただけたらと思います。

(市民) 浜町ではこども園の計画が出た段階から自治会で学習会を開くなど、こども園の理解を深める取組をしました。住民の中の関心の度合いも様々ですが、いい形で受け止めていきたいと思っています。工事が始まりますと様々な課題が出てくると思っていますので、いろいろと話し合いをさせていただきたいと思っています。

現在、西蔵町や浜町では市営住宅の解体等をはじめ、様々な工事が行われています。それに加えてダイヤステージ跡地、精道中学校の工事も始まり、工事だけでなく、工事に関する話し合いも何度も行っています。このような状況ですので、この地域で自治会を担当している者の大変さをまず理解をしていただきたいと思っています。そのような状況の中でこの工事が始まるということで関連があると同時に大変だと思っています。その意味で、解体工事にあたっては、外に影響が出ないように、丁寧に行われていると非常に感心しました。

建設後の問題になりますが、こども園北側に4階建てのマンションができた際に、こども園の送迎時の子どもの声や保護者の声、遊ぶ子どもの声が反響するのではないかと心配しています。そのあたりの防音対策はどのようにされる予定でしょうか。かつてダイヤステージの西側に小さな子どもを対象とした教室がありました。子ども達がたくさん通っており、入口で騒ぐ子ども達の声がダイヤステージの3階や4階に反響し、住民の方が精神的に不安定な状態になられたことがありました。それくらい下から上

へ通る声は近隣に影響があります。今回の場合も建物北側に新しく建築されますので、調整が大切だと思います。送迎時の声や遊ぶ声を含めてですけど、特に送迎の問題が出るのではないかと思います。

また、計画に間違いはないかと思うのですが、以前宮川幼稚園にエレベーターが設置されました。一度乗ったことがあります。閉じ込められてしまい、日ごろから使われていないのではと思っていました。設置されたときも今回のように一生懸命説明してされておりましたが、結果として無駄になっていると感じましたので無駄のない計画を考えてもらいたいと思います。

図面を見ていて会議室1がありますが会議室2はあるのでしょうか。会議室は地域の方が集まって使うことができるのかということや親や関係者の会合はたくさんあると思うので場所が足りないのではないかと思います。会議室のようなものがもっとできないかと期待をしております。

この施設ができることには非常に期待をしておりますので、ぜひいいものを作ってほしいと思います。

(事務局伊藤) 子ども達が過ごす場所は、基本的に園舎内か南側になりますが、おっしゃるとおり、送迎時の問題については保護者の方にも注意喚起をし、マナーを守っていただくよう、対応をしたいと思います。

施設の設備内についても無駄がないようにということですが、エレベーターは体が不自由な子どもの利用があるかもしれませんので、設置はしています。無駄のない施設利用は心がけており、設計上もそのように考えておりますので、ご指摘を十分踏まえて行うようにいたします。

会議室については保育室や部屋の関係もあり、1つとなっています。また、地域の方がご利用いただけるかどうかについては、施設の性質上、どこまでできるかは課題がありますので、可能な範囲で地域のお役にたつ施設になるよう、会議室での利用は難しいかもしれませんが、市としては緊急的な避難場所としての利用として考えているということでご理解いただけたらと思います。

(市民) 避難訓練やエレベーターの話がありましたが、子ども達を避難車に乗せて避難を行うということですので、避難にエレベーターを利用せざるを得ないと想定されているのかなと思います。地震等によって電気系統類が落ちた場合にエレベーターの利用はできないのではないのでしょうか。

こども園なので出入り口には施錠がされると思いますが、送迎の出入り口は北側でしょうかということと地域の方が屋上に避難ができるということですが、屋上は大体何人くらい避難できる計算をしていますか。

また、緊急時は施錠をオープンにして、地域の方が外から入ってこられることを想定されていると思いますが、施設内の方がバルコニーに出てから屋上への避難する経路と地域の方がどの経路で屋上に上がってくるのか教えていただいてもいいですか。

(事務局伊藤) まず、避難車で避難する場合にエレベーターの電源が落ちていたらどうするのかという点について、エレベーターは避難時に使用できる状態であれば使用しますが、基本使わないと思います。使用しない場合は、内部の階段がありますのと東側に外部スロープがございますので、避難車はスロープを使って上がることができます。また、車いすの方や階段が使用できない方もスロープを使っていただけると想定しております。

出入り口について、通常時は北側のエントランスになりますが、緊急時は様々なところから外に出ることができると考えておりますので、様々なところからテラスに出た後、右側のスロープから屋上に上がるという経路を想定しております。住民の方については、地震が起きた時にエントランスから施設内に入っていただける状態かわかりませんので基本的にはスロープで上がっていただくことを想定しております。外からどのようにということを図面上描けないものの、中を使っていただくこともあるかもしれませんが、スロープを利用いただいて上がっていただくという想定です。

屋上につきまして、2ページの資料では約38㎡と記載しておりますが、こちらは建物の基準上の表現として8ページの図面左側の階段の付近が38㎡ということがございます。避難していただく場所は階段の右側の逆向きのL字部分になります。こちらは約300㎡あります。物を置く可能性もありますので、300㎡全てを使えるわけではないかもしれませんが、緊急時の1人当たりの面積の考え方にもよりますが、1人あたり1㎡ということでしたら300人ということになりますし、半分にすると150人となりますので、大体150～300の方が避難できる計算となっております。基本的には北方への避難を行いますので、緊急時の対応としてということになります。

(市民) スロープが開放されると、中からの移動と外からの移動でスロープが混乱するのではないかと思います、いかがでしょうか。

(事務局伊藤) 確かに同時に避難される可能性はありますので、そのような状況になる可能性はなくはありません。ただし、基本的に北方への避難になり、屋上への避難はあくまで緊急時の対応ですので、園にいる子ども・職員の避難の方が早いのではないかなと思っています。現時点ですと、時間帯が重なった時は順序よく避難してくださいということしかできず、前もっての対策は難しいと思います。地域の方と含めた避難訓練を行うことを考えてお

りますので、実際に想定した訓練ができると思います。

(市 民) 避難訓練を通して、地域の方と連携していただけたらと思います。

また、保健室があると思いますが、病児保育ということは行われていないと思うのですが、その看護師の配置や病児が出たときの対応が決まっていれば教えてください。

(事務局伊藤) 朝から熱があり、本来園を休まなければならない子どもを受け入れるという病児保育室はこちらにはありません。朝は元気だったが、途中で熱が出てきたり、怪我をしたといったような子どもに対して一時的に手当ををし、安静を保っていただく部屋という位置付けになります。看護師を専任で1名配置いたしますので、今の保育所等と同じ対応ができると思います。

(市 民) 宮川幼稚園への影響、入園の人数等についてどのようになるか気になっております。旧市営住宅の向かいに200世帯のマンションの販売も始まっているようです。どのような方に販売をするのか聞いたところ、夫婦2人や子どもがいる世帯だと言っていました。子どもというのは小学校かもしれませんが、近くにこのこども園ができ、受け入れ体制はできるのかもしれませんが、反面、宮川幼稚園の人数がどのようになるのかお考えがあれば教えてほしいと思います。

(事務局山川) 宮川幼稚園の園児の数の増減について、正直申し上げて、どうなるのかということは何もわからない状況です。こども園では幼稚園部として各年齢を30人ずつ受け入れ、30人以上の申込みがあれば抽選等をいたします。入れない場合があれば近隣の宮川幼稚園に通われることもあると思います。宮川幼稚園は小学校に隣接している地域に根付いた幼稚園ですので、一定の方は引き続き選んでいただけたらと考えております。

(市 民) 浜町からは私立に行く方が多いのであまり影響ということではないかもしれませんが、こども園ができた際に浜町から何人か通うかもしれませんが、そのあたりを含めて聞くことができたらと思いましたが、把握されていないということですね。

(事務局山川) どうなるかということ把握しておりませんが、一定数は残るとは思います。

(市 民) 西蔵こども園の北側に200世帯の家が販売され、浜町も100戸でき、大東町の市営住宅跡地もマンションができるということですので、この地区付近にたくさんの子どもの数が増えると思います。このこども園は2階建てではなく、3階、4階の高い建物でなければ子どもの行先がなくなるのではないかと思います。

(事務局伊藤) おっしゃるとおり、新たな建物の建設については、認識しております。

今後、子どもの数の動向はみていかなければならないと思っております。その時には新たな施設の整備が必要になってくるかと思えます。基本的には保育所等の施設は2階建てまでが一応の原則となっており、3階、4階ということは今後施設整備の際に建てていく、推進していくことは考えておりません。当初、今よりも多い定員数の計画でご説明した際に、数が多すぎるのではないかというご指摘をいただいた経緯もあります。子どもが増えて対応が必要な場合は、新たな施設整備を考えていくつもりをしています。

(市 民) 送り迎えで多くの車が来ると思うのですが、時間帯によっては、小学校の登下校の時間に重なると危ないと思うのですが、そのあたりはどう考えていますか。

(事務局伊藤) おっしゃるとおり、18台の駐車場を整備しており、車での送迎があることは想定しております。子どもの通行は登下校に限らずあると思いますので、まずは、車で送迎する保護者の方にはまず注意喚起を行い、マナーの順守、法令順守をしていただきたいと思っております。そこで、あまりにも状況がよくなる、守られないということがありましたら、例えば園から一定距離の方には車での送迎を控えていただくなどルール決めが必要になってくるかもしれませんが、今のところは私立含めて、大きな問題なくマナーを守っていただいているところが多いですので、西蔵の方でも最初は注意喚起からスタートし、状況によって、ルールが必要かどうか検討をしていきたいと思えます。

(市 民) 最初の段階から必ず守ってもらうことは難しくても、できるだけ住宅街の中を通らずに宮川の方に抜けてもらうような指針や誘導は必要ではないかと思いますがどうでしょうか。

(事務局伊藤) そうですね。5ページの図面でも駐車場は西側にあり、おっしゃるとおり、ある程度の指針は出す必要があると考えております。基本的には、できればですが、図面の右から左へ車にきていただき、右折ではなく、左折で駐車場に入っただけのような車の運用を想定しておりますので、全ての車がとはいかないかもしれませんが、おおまかな流れを保護者の方にお伝えしたいと思えます。

(市 民) 2階の平面図を見ているとスロープに入る前に階段が2段程あると思えます。スロープの勾配と高さが合わなかったのだと思うのですが、スロープを使用する車いすの方等がスロープを使用する場合、階段があれば使えませんよね。このあたりはどうでしょうか。

- (事務局尾高) 遊戯室とスロープのレベルが同じになっております。車いすの方は遊戯室を通過して上がっていただくことになります。
- (市 民) 屋上にあがるときもそうですか。エレベーターは屋上まで通っていませんよね。
- (事務局尾高) エレベーターは屋上まで通っておりません。
- (市 民) エレベーターは車いすの方が使うとおっしゃっていましたよね。エレベーターで2階まであがったあと、そこから車いすの方が外部のバルコニーに出て、スロープを通過して屋上にあがるという説明があったと思います。スロープの前に階段があると車いすを人が持ち上げなければならなくなるのではないですか。そうすると避難経路のはずなのに混乱するのではないのでしょうか。
- (事務局尾高) エレベーターと遊戯室、スロープのレベルは同じですので、遊戯室を通過していただくことになります。
- (市 民) バルコニーから屋上に行く経路です。スロープの前に階段がありますよね。
- (事務局尾高) 遊戯室と廊下、スロープの前のバルコニーはレベルが合っています。
- (市 民) その部分を除いたバルコニーが段差になっているということでしょうか。
- (事務局尾高) そのとおりです。
- (市 民) バルコニーに出るためには遊戯室を通らなければならないということでしょうか。
- (事務局岸田) 車いすの方は遊戯室からまっすぐスロープにあがっていくということです。
- (市 民) バルコニーに記載があるのは階段でしょうか。
- (事務局尾高) 各部屋からバルコニーに出るには段差があります。
- (市 民) 子どもが出入りするのに段差がない方がいいのではないですか。なぜここに段差があるのですか。
- (事務局尾高) 設計上の都合で段差を設けざるをえなくなったということです。
- (市 民) 危ないのではないですか。
- (事務局尾高) バルコニーは普段使うものではありません。緊急時の避難の時にスムーズに避難ができるように設置をしています。
- (市 民) 使わないのであれば、バルコニーはいらないのではないのでしょうか。
- (事務局尾高) 普段の使用はしませんが、緊急時の避難で使用をします。
- (市 民) 緊急時に段差があることで、足元を見ながら避難してくださいというのは計画倒れに感じます。段差をつけなければならなかった理由はなんですか。
- (事務局尾高) もともとの計画ではウッドデッキを設ける計画でしたが、予算上の都合

でやめざるを得なかった状況です。

(市 民) 構造からあげると揃うのではないのでしょうか。わざわざ段差をつける方がややこしい構造になっていると思います。構造を見直した方がよいのではないのでしょうか。

(事務局尾高) おっしゃるとおりですので、検討させていただきます。

(市 民) 子どもが使うものですし、避難の話も出ているので段差のないほうがいいと思います。何かの理由、いい方向で段差をつけるのであればわかりますが、着工をしていない状況で致し方なくという妥協案はひどいと思います。

(事務局尾高) 検討させていただきます。

(市 民) 図面を見ていると、東西方向の地震が起きた場合、スロープ自体が地震に耐えうる構造なののでしょうか。東西方向に対する耐力壁もしくはブレースは立面図を見る限りはないように思います。

(事務局尾高) 構造計算は当然しておりますので、耐えることができない構造はしていません。

(市 民) わかりました。一度確認をお願いします。

着工は11月でしょうか。

(事務局尾高) 10月から11月に着工を予定しています。

(市 民) 現時点で、様々な工事が行われており、このあたりは工事車両の路上駐車が多い状況です。今日も市役所の建築指導課に電話し、パトロールしてくれませんかと依頼をしましたが、権限がないためできないと協力はいただけませんでした。その後、警察に電話し、パトロールを行い、そのような車があれば注意をしますと言ってくれましたが、工事車両にはドライバーが乗っていることがほとんどなので、注意をすることしかできないと言っていました。こども園の工事が始まると同様の状況が増えると思いますので、市として他の工事を含めた対応策を考えていただけたらと思います。今の時点で道に4トントラックが停まり、その車を縫うように10トン以上のトレーラーが入ってきて、右往左往しています。この状況は本当に住民が安心して生活できる環境なのだろうかと思います。こういうところも含めて市の指導力を見せていただけたらと思います。

また、着工までのできるだけ早い間に説明会をして、今のことやどのような経路で搬入するのかということを確認させてもらい、要望への対応が着工後とならないよう、できるだけ早く説明会をしてもらってこちらからの要望を出せるような体制を整えてもらえたらと思います。

- (市 民) 先ほど看護師を一名配置するとのことでしたが、現時点で、職員や調理師の人数は何人が決まっていますか。
- (事務局伊藤) こども園には保育所で配置している基準として、たとえば5歳でしたら子ども20人に対して先生が1人という基準がありますので、子どもの定員に対して配置が何人というのは決まっております。
- (市 民) 調理に関してですが、自園調理といたしますか園で材料から全て調理をされる予定でしょうか。
- (事務局伊藤) はい。基本的にはその予定です。
- (市 民) 給食センターで調理されたものを運んで提供するというのではないということですね。
- (事務局伊藤) 自園調理を行います。
- (市 民) 職員の数について具体的に人数がわかっていたら教えていただきたいです。
- (事務局伊藤) 調理の人が何人という細かい数字は持っていませんが、基本的に保育所に配置をする基準の割合に応じた人数として配置が決まっております。
- (市 民) 配置されるのは調理も含め、市の職員として配置されますか。委託でしょうか。
- (事務局伊藤) 令和3年の開園の際は臨時職員か正規職員かの違いはあるかもしれませんが、市の職員であることに変わりはありません。
- (市 民) 奇抜な考えかもしれませんが、地震や火事が発生したときに子ども達より職員の数の方が少なく避難に時間がかかると思います。避難にはスピードが必要になると思いますので、北に逃げるとなった際に滑り台のようなものがあつたらいいと思います。テレビで飛行機の搭乗口から出てきた滑り台で地上に避難している様子を見ました。普段から遊びもかねて訓練をし、津波が来たときはそこから避難し、下で1人先生が待ち受けていれば、普段から訓練していたらできると思います。火事でもベランダから滑り台みたいに避難できれば、階段で積み重なって避難できなくなるということがないと思いますので、滑り台の発想を防災に生かしたらいいと思います。
- (事務局伊藤) 日頃から訓練をしていないからかもしれませんが、大人でも衝突してけがをするという事も聞きますので、3～5歳の子どもが怖さもある中でその方法ができるのか、適切なのかということにはわかりません。ご意見をいただきましたので、今後確認をしてみたいと思います。今、イメージをすることは難しいため、使いなれた通路やスロープでの避難が第一かと思えます。いただいたご意見については、可能なのか実例があるのか確認をしたいと思えます。

(事務局内野) 以上をもちまして、本日の説明会を終了させていただきます。